

## 【本日のインタビューの背景・目的】

全身脱毛するZ世代男子の美容意識・価値観を探る

-----

「メンズ全身脱毛する人が増えている」という話を見聞きします。  
処理の手間をかからなくするため、清潔感をアップするため、などが理由だとネットには書いてあります。とは言え、決して安くはない費用をかけてそこまでするというのはどんな考えからなんでしょうか。  
実行するまでは躊躇があったのか、ずっとやりたいと思っていたのか。  
誰かに相談したのか、実行までにどんな経験があったのか全身脱毛することでどんな変化があったのか。  
脱毛とは何を取り除くことに繋がっているのか。  
などなど聞いてみたいと思います。  
全身脱毛という行為を通じたZ世代の価値観や人間関係の考え方などから兆しを探りたいと思います。

<インタビュー対象者>

23歳・男性・実家暮らし  
仕事：就活中アルバイト

# 「脱毛男子」価値観：インタビューからのファインディングス

## ●「脱毛」のきっかけ、「脱毛」への意識

- ✓ もともと「脱毛したい！」という意識が強かったわけではない
- ✓ ニキビをなくしたい気持ちから美顔器でお手入れ始めたら肌が改善してきた。  
もともとヒゲ剃りは面倒くさかったし、ヒゲは似合わないし、ヒゲを剃ることで肌がまた悪くなるのはイヤだな
- ✓ コロナ禍で時間もあるし、お金は使わないし、ヒゲ脱毛について調べてみよう
- ✓ 整形のように直したり、メイクのようにキレイにすることには興味があるわけではない。  
ヒゲは似合わないからなくしたいだけ。体毛はなくてもいいからなくしたいだけ
- ✓ ヒゲが50万、+30万で全身できるなら、全身やってしまおうという金銭感覚。80万をポンと出費できてしまう
- ✓ バイトしてお金が貯まるのはポイントのような感覚。貯まったから何かに使おうと思う

## ●「脱毛」したことでの気持ちや行動の変化

- ✓ 脱毛してこう見られたいではなく、見られることを気にしなくていいという気持ち
- ✓ 脱毛の話は“ネタ”として話したい。80万かかるのが話のオチ
- ✓ 脱毛したらアクセサリーはつけなくなる（毛がないと見栄えがよいことに気付く）
- ✓ 洋服にはあまり興味がなく、特にこだわりもない。ショートパンツが履きやすくなったくらい
- ✓ 美顔器でニキビをなくして肌がキレイになったことを周りから褒められるのは努力を認められた感じで嬉しい。  
脱毛はただ通っただけだから、自分では努力していないから、何か言われたいとは思わない
- ✓ 好きなアイドルの推し活で握手するのに、自分の見られ方が気にならない。  
推し活の画面に映える自分が他の人よりもキレイに見える